

福島県PTA連合会



PTA 福島 第120号

県P連活動スローガン **子と親が共に育つPTA活動を**

編集：調査広報委員会

印刷：株式会社第一印刷

社会教育課長あいさつ



社会教育課
課長 渋川卓也

最新技術を駆使して、「植物」の新たな生態を特集したテレビ番組を家族で観ました。埼玉大学の豊田正嗣さんによると、植物は動物と変わらないぐらい、情報伝達体制が体内で確立されているということ。虫にかじられたという情報が木全体に伝わり、毒物質を体内で生成し、虫に反撃をしようとする。さらに植物は、葉をかじる音あるいは虫の唾液に含まれる化学成分で、敵を認識。

相手に応じて、攻撃に使う毒物質の種類や量を変えていることが、明らかになったということが報告されました。「音」「温度」「重力」「化学物質」など、植物が周りの変化を感じ取るためのセンサーは、20を超えるとも言われており、植物は、私たちが想像もできないほど、アクティブに生き抜いているんだなあと思えました。

特筆すべきは、東フィンランド大学の生態学者、ジェームス・ブランドさんの研究成果。シラカバの葉が、虫等に食べられたとき、10種類以上もの物質を発します。この特有の物質の組み合わせこそが、植物が発する“メッセージ”。『食べられた』というメッセージを発し、かじられていない木がそれを受け取り、毒素を生成し攻撃に備えるというメカニズムが発見されたのです。

京都大学化学生態学者の高林純示さんの実験では、やなぎは、いくつかの物質を組み合わせ、[“ヤナギルリハムシ”の“幼虫”に“食べられている”]といった意味のメッセージを送ります。このメッセージを触覚で受け取ったカメノコテントウは、「ヤナギが、呼んでいる!」と、0.01程度の視力でありながらも幼虫を食べに行けることがわかりました。

他にも、天敵を呼ぶ例は、130以上見つかっており、ニレの木は、ハムシに産卵されると、「“ハムシ”が“卵を産んだ”」というメッセージを発して、その天敵のハチを呼び寄せます。アカマツは、マツハバチの幼虫に食べられると、その幼虫が大好物の烏・シジュウカラを呼ぶことがわかりました。人間の知らない膨大なメッセージが、この地球には存在しているといった内容にえらく感動した時間でした。

この番組のキーワードは、「メッセージ」ではないかと…そう捉えたとき、のんびり蜜柑を食べながらテレビを観ている娘らに、自分はどんなメッセージが送れたんだろう…教員として教え子達にどんなメッセージを残せたんだろう…と思えました。

閑話休題。現場で、保護者の方に相談されることが一番多いのが次の内容。「うちの子大丈夫でしょうか。何考えているか、ちっともわからないんです。返事は、基本無し。あっても、『ああ』とか『うるさいな』 辺りでしょうか。育て方間違っただしょうかね…」と、うるうるした目で切々と訴える保護者。私は、自信を持ってこう答えます。「間違っていないよ。子供は親の背中を見て、親からのメッセージをしっかり受け取って、確実に育っています。親御さんはその瞬間、瞬間にできることを精一

杯されてきたでしょう。それでいいんですよ。」

高校1年生はほとんど中学生。高校3年生はほとんど大人。卒業して同級会をすれば全くの大人。時間の経緯とともに心の有り様を見てきた結果でた結論でした。

新入生を対象とした二者面談のとき、浮かない顔をしている生徒に理由を聞くと、「親が…」[親がどうしたの?]「俺のいうことを何でも聞いてくれるんだ。」「えっ、そのどこが納得いかないの」「俺だって我が儘にいうこともあるし、間違っただけを押し通す時もあるからさ、叱って、というかブレーキをかけてほしい時もあるんだ。なんか…俺のこと本気で心配してくれないんじゃないかと…」親とのお友達感覚のいい関係もいけれど、それだけでは嫌、叱るときは叱ってほしいということなんだなあと気付かされた瞬間でした。

教え子が30歳になるときの同級会でのこと。「先生、先生のこと実は、信頼してたんだぜ、本気でぶつかってきてくれたじゃん、他の教科の先生は、腫れ物触るような妙な距離感があったんだよね。」と、30歳でリーゼントの教え子がのたまう。ほう、ほとんど毎日午前中はお休みタイムばりに、グウグウ寝ていて、注意すると逆ギレしてた学年一やんちゃだった君が、そんな風に思ってたんだ…へー…。また、家庭内が色々大変だった教え子。「思い起こせば、お母さんはすごく頑張ったと思うよ。母親として妻として、親父がああだったから、思い詰めることもあったし、感情的になってたこともわかってたから…そんな母親を見ると余計つらくて、つい反抗しちゃうんだよね。」あの当時の母親の立ち位置等を、冷静にみていた教え子でした。

子供にとって親の背中、言い換えれば、言語化されないメッセージは、確実にその子人生に大きく影響するのではと思います。私も含めて、子育てのいろいろな岐路に立ったとき、自分の親はどうしていたっけ、親からこうされたら、こう思った、など、いいも悪いも親の背中を判断基準としたことが多いのでは…。もちろん押したり引いたり、親子関係における、テクニカルな部分はあることは否定しませんが…自信を持って子育てしてはどうでしょう。

植物は、山火事に遭遇すると燃えた木から、「カリキン」という物質を放っています。そのメッセージは、「今こそ芽吹け」。

現在も子育て継続中…背中からのメッセージは、かくもありたいなあと思う今日この頃です。

目次

福島県教育庁社会教育課長あいさつ	P1
日本PTA全国協議会会長表彰 受賞団体の紹介	P2
第46回子ども災害事故防止 習字・ポスター作品展	P3
令和4年度「楽しい子育て全国キャンペーン」	
三行詩コンクール審査結果	P4
令和5年度県大会のお知らせ	P4
安全互助会からのお知らせ	P4

特集 日本PTA全国協議会会長表彰 受賞団体の紹介

本宮まゆみ小学校PTA

・令和4年度 福島県PTA連合会会長表彰 受賞
・令和4年度 日本PTA会長表彰 受賞

令和4年10月2日 白河文化交流館コネス
令和4年11月18日 ホテルニューオータニ



PTA会長
川名隆裕

この度は「日本PTA全国協議会会長表彰」という大変光栄な賞を受賞させていただき、ありがとうございます。本宮まゆみ小学校は、福島県のほぼ真ん中「へそのまち 本宮市」の安達太良山を望む西部に位置し、児童数301人の小学校となっております。国道4号や東北自動車道のインターチェンジに近く、交通の要衝となっており、近年は交通の便の良さから、民間業者による小規模な住宅団地の造成や、工業団地への企業進出が進んでおります。

子どもPTAの活動は、子どもたちの健全な育成を図り、合わせて保護者の相互の教養を高めることを目標

に、運動会や地区の陸上大会で先生方と共に準備・運営・片付けや、屋外プールの清掃、資源回収活動、広報紙の発行、教育講演会、学校周辺の草刈りなどを実施しております。また、一昨年から続くコロナ禍のため、様々な行事に制限がかかっておりますが、PTAが学校行事に協力することでなるべく開催できるよう、毎週の子どもの教室の消毒や、行事受付の際の手指消毒の実施など、子どもたちがコロナ前と同じような行事ができるよう、学校と協力して新たな取り組みを実施いたしました。

今回の受賞は、私たちPTAの取り組みだけでなく、学校や地域の皆さまの協力の賜物でありますので、今後も多くの皆さまと協力し、子どもたちの学校生活を支えてまいりたいと存じます。

実績顕著と認められた事項

- ・運動会における新型コロナウイルス感染防止の取り組み（受付での検温、距離確保の呼びかけ）
- ・通学路の危険箇所点検
- ・年3回の資源回収
- ・屋外プール清掃（6月実施 朝6時～9時頃）



錦小学校PTA



PTA会長
赤津慎太郎

先般執り行われました公益社団法人日本PTA年次表彰式において全国会長表彰を授与されたことをご報告申し上げます。皆様方のご支援に衷心より感謝申し上げます。

私自身は、令和4年度より会長職をお預かりし、就任も間もない立場であったことから雰囲気や圧迫されるばかりでしたが、錦小学校PTAのこれまでの活動やその歴史同様にはじめてのことであっても挑戦する気持ちで登壇しました。

会場までの道すがらではご同行いただいた粥塚校長先生とも喜びを分かち合いながらPTA活動の意義などの意見交換をすることができました。

「和をもって共育」校長先生が掲げる錦小学校の方針に私は強く共感しているところです。子どもたちが日々学びを深めていること同様に、私たち大人も共に学びを深めたい。

いただいたこの機会・経験から、今後の錦小学校PTA活動が保護者の学びの場となり、協力し合う学校職員、地域までもが育ち合う活動でありたいとあらためて強く思います。



第46回 子ども災害事故防止 習字・ポスター作品展

ポスターの部 最優秀賞

ポスターの部審査員

阿部正明 (元御山小学校校長)
黒羽慎一 (佐倉小学校長)



附属小 1年 村上千紘



石川小 2年 添田陽太



小原田中 1年 景山里枝



白河中央中 2年 近藤愛夏

習字の部入賞者

小学校の部 応募数52校・676点

最優秀賞

▷1年=室井柊伍 (白河二) ▷2年=齋藤まえむ (川俣) ▷3年=室井大空 (磐崎) ▷4年=薄井唯 (表郷) ▷5年=佐藤希美 (松長) ▷6年=渡辺愛徠 (藤原)

優秀賞

▷1年=檜山恵佑 (熊倉) 巖和磨 (附属) 鈴木朝陽 (表郷) ▷2年=近藤凜空 (熊倉) 菅谷莉子 (熊倉) 高井咲夢 (緑ヶ丘一) ▷3年=土橋世佳 (鶴城) 鈴木虹那 (五箇) 松川優菜 (豊川) 高地雛美 (猪苗代) ▷4年=末廣莉央奈 (中央台東) 諷岐怜華 (日新) 廣瀬愛 (鶴城) 阿久津結衣 (湯本一) ▷5年=生田日夏希 (浅川) 國井菜緒 (好間二) 高橋由衣 (緑ヶ丘一) ▷6年=國井優芽 (白河二) 佐藤結衣 (塩川) 草野瑞穂 (好間二)

優良賞

▷1年=金田陽菜 (好間二) 木田莉子 (夏井) 関根朱莉 (大森 (須賀川)) 酒井咲希 (白河一) 海野藍結咲 (石川) ▷2年=平野琉衣 (熊倉) 遠藤優芽 (日新) 尾形晴香 (緑ヶ丘一) 鈴木蒼彩 (緑ヶ丘一) 添田陽太 (石川) ▷3年=吉成菜々美 (塩川) 緑川瑛南 (白河二) 高木悠暢

(夏井) 眞野悠斗 (小金井) 那須城司 (日新) 佐波古蓮花 (湯本一) ▷4年=藤内蓮灯 (平一) 大竹絢心 (緑ヶ丘一) 佐藤真緒 (附属) 齋藤慶 (白河二) 磯上陽菜乃 (磐崎) 坂本逢香 (熊倉) 半谷颯 (附属) ▷5年=藤内諄了 (平一) 杉山美妃 (塩川) 但野陽菜 (鹿島 (南相馬)) 大橋スミレ (熊倉) 佐藤春希 (湯本一) 村田虹乃 (磐崎) ▷6年=阿部心春 (藤原) 佐藤日向子 (附属) 菊地裕美 (緑ヶ丘一) 高根沢緒音 (熊倉) 齋藤綾音 (笹谷)

中学校の部 応募数29校・125点

最優秀賞

▷1年=渡部小夏 (河東学園) ▷2年=齋藤ゆうあ (川俣) ▷3年=山田絵里加 (学園)

優秀賞

▷1年=薄井悠 (表郷) 江川美月 (安積二) ▷2年=岩佐海麟 (植田) ▷3年=豊崎姫衣沙 (若松五)

優良賞

▷1年=高玉快 (好間) 永沼佳子 (石川) 鈴木美緒 (湯川) ▷2年=星野美姫 (磐崎) 西横美琴 (須賀川三) ▷3年=渡部日菜 (南会津)

ポスターの部入賞者

小学校の部 応募数12校・46点

最優秀賞

▷1年=村上千紘 (附属) ▷2年=添田陽太 (石川)

優秀賞

▷1年=浜名美咲 (白河二) ▷2年=及川怜奈 (平一) ▷3年=金澤澄伶 (石川) ▷4年=大河内葵陽 (熊倉)

優良賞

▷1年=菊池奏佑 (鶴城) 渡部惣一郎 (鶴城) ▷2年=石山凜花 (熊倉) ▷3年=山田果凜 (白河二) ▷4年=鈴木未来乃 (石川) ▷5年=一ノ瀬遼 (小金井) ▷6年=八木沼千尋 (熊倉)

中学校の部 応募数9校・45点

最優秀賞

▷1年=景山里枝 (小原田) ▷2年=近藤愛夏 (白河中央)

優秀賞

▷1年=鈴木咲紅 (浅川) 鈴木芽依 (西郷一) ▷2年=鈴木美優 (西郷一) ▷3年=根本佳織 (石川)

優良賞

▷1年=古内咲月 (郡山一) 三津谷遥 (郡山一) 小針夏希 (浅川) ▷2年=小林香濃 (須賀川三) ▷3年=福島テルマ (白河中央)

習字の部 最優秀賞

習字の部審査員

丹治英郎 (元福田小学校校長)
鈴木幸子 (元蓬莱小学校教諭)
庄司久子 (元湯野小学校校長)



白河二小 1年 室井柊伍



川俣小 2年 齋藤まえむ



磐崎小 3年 室井大空



表郷小 4年 薄井唯



松長小 5年 佐藤希美



藤原小 6年 渡辺愛徠



河東学園 1年 渡部小夏



川俣中 2年 齋藤ゆうあ



学園中 3年 山田絵里加

令和4年度「楽しい子育て全国キャンペーン」三行詩コンクール審査結果

～家族で話そう！我が家のルール・家族の絆・命の大切さ～

今年もたくさんの応募ありがとうございました。福島県審査の結果、下記の13点が優秀賞となりました。優秀賞は全国三行詩コンクールに福島県推薦作品として出品いたしました。

小学生の部

応募総数507点 ◇全国推薦作品5点

ありがとう 大じょうぶ? ぼくも手つたう 気をつけて やさしい気もちや 声かけもニコニコ家ぞくで いるひけつ	福島市立佐原小学校 2年	佐藤 勇悟
帰ったら 姉とはじまる 「あのね のね」 お母さん聞いて 今日のこと	下郷町立権原小学校 3年	星 昊花
ホッとす 働く母の 置手紙	会津若松市立日新小学校 6年	齋藤 悠真
「またおなじい」と言いながら えがおで完食するわたし 日曜お昼は父チャーハン	喜多方市立堂島小学校 3年	関本桜里姫
食事中 会話はオンで テレビオフ	いわき市立小名浜西小学校 5年	福地 獅壮

中学生の部

応募総数151点 ◇全国推薦作品5点

大嫌いとお母への不満を友達に言うけれど お母さんの子でよかったと毎日思う ごめんね そして ありがとう	福島市立野田中学校 2年	小原 果琳
「行ってきます」 返ってくる「気をつけて」 その会話で感じられる 当たり前だけど大切な日常	福島市立野田中学校 3年	渡辺 梨瑚
父が仕事でいないと寂しい 母が用事でいないと寂しい 姉が学校でいないと寂しい そして私がいなくて寂しいと言う 私たち家族は4人で一つ	福島市立野田中学校 2年	木下 桃佳
父の日のプレゼント どうしても あげることができなくて それでも伝えたい 日々の感謝	福島市立野田中学校 3年	渡邊 ねね
笑顔が家族のパワーをアップさせ 家族のパワーが笑顔をつくる	南会津町立館岩中学校 3年	小椋 悠

一般の部

応募総数15点 ◇全国推薦作品3点

何度も転んだ自転車練習 親の手を離れて進んでいく我が子に「どんどん進め」という気持ちと 「まだまだ離れていけないで」という想いと
南会津町立田島小学校 一般 菊地あゆ美

お手伝い中 元気に歌う我が子 近所迷惑ではと心配しつつ今日も楽しい学校生活だったんだと にんまりしてしまう私
いわき市立錦小学校 一般 石川 泰子

焦らないで 抱え込まないで 目の前のやるべき事を 1つ1つやっいていこう それが あなたの力となり 自信になるから
南会津町立南会津中学校 一般 宗像美由紀

令和5年度県大会のお知らせ

第71回福島県PTA研究大会二本松大会

詳細については、3月配布の「一次案内」をご覧ください。

- ◇期 日 令和5年11月12日(日)
 ※令和5年度の日本PTA東北ブロック研究大会が10月の開催となったため、県大会は11月開催に変更となりました。
- ◇会 場 二本松市城山総合体育館及び二本松第一中学校体育館

安全互助会からのお知らせ

令和5年1月に令和5年度PTA安全互助会加入のご案内文書と事務取扱概要を市町村教育委員会の文書箱経由で配布しました。従来は新年度に事務取扱概要を郵送しておりましたが、加入申込の手続き等についても記載がありますので、1月にお届けすることにしました。

なお、「事務取扱概要」の表紙には、手続きの流れと締切日を記載しましたので、その表をご確認の上、申込みや会費納入についての手続きを進めてください。

※令和5年度より各学校の会員番号(事故報告書に記載する学校番号に相当)は、福島県PTA連合会HPに掲載します。ご確認の上、事故報告書への記入をお願いします。

福島県PTA安全互助会補償制度

(児童、生徒・PTA会員傷害・賠償補償制度)



児童、生徒のケガや「熱中症」「食中毒」による入院・通院も補償対象となります。



ふくしまっ子子ども総合補償制度

(小・中学生総合補償制度)



〇-157などの特定感染症や新型コロナウイルス感染症を発症し入院した場合や、自転車による高額な賠償事故にも対応しています。

詳しくは、福島県PTA連合会HPをご覧ください。